

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 3 区分
 【発行日】平成22年9月16日 (2010.9.16)

【公表番号】特表2010-509082(P2010-509082A)
 【公表日】平成22年3月25日 (2010.3.25)
 【年通号数】公開・登録公報2010-012
 【出願番号】特願2009-536223(P2009-536223)
 【国際特許分類】

B 2 3 B 31/10 (2006.01)

B 2 3 B 31/02 (2006.01)

【F I】

B 2 3 B 31/10 B

B 2 3 B 31/02 6 1 0 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成22年7月27日 (2010.7.27)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

内周面およびテーパ付き内端部を有するタイヤカーカスに係合するチャックシステムにおいて、

それぞれが軸線の周りに画定される一定直径の周方向の外表面を有する第 1 チャックおよび第 2 チャックを備え、

前記第 1 および第 2 のチャックは、互いに同軸状に取り付け、また収縮した状態と拡張した状態との間で相対的に軸線方向に移動可能にし、

各チャックは、前記一定直径の周方向の外表面から半径方向外方に突出して前記タイヤカーカスの前記内周面に係合する複数個の摩擦低減部材を有し、前記摩擦低減部材は、前記各チャックの前記外表面に対して回転可能とし、これにより、前記チャックと前記タイヤカーカスとの間における摩擦を、前記タイヤカーカスに対する前記チャックの一方または双方の軸線方向相対移動中に低減する構成とした、
チャックシステム。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のチャックシステムにおいて、前記第 1 および第 2 のチャックは、第 1 テーパ部および第 2 テーパ部をそれぞれ有し、前記第 1 および第 2 のテーパ部は、前記チャックが拡張した状態にあるとき前記タイヤカーカスの前記テーパ付き内端部に係合するよう、互いに軸線方向逆向きのテーパが付いた構成とした、チャックシステム。

【請求項 3】

請求項 2 に記載のチャックシステムにおいて、前記テーパ部は、各チャックにおける前記一定直径の周方向の外表面よりも小さい最大直径を有し、各チャックには前記外表面と前記テーパ部との間における肩部を有する構成とした、チャックシステム。

【請求項 4】

請求項 1 に記載のチャックシステムにおいて、各チャックの前記複数個の摩擦低減部材は、互いに周方向に等間隔で配置した、チャックシステム。

【請求項 5】

請求項 1 に記載のチャックシステムにおいて、前記摩擦低減部材は、前記軸線にほぼ直

交する方向に前記チャックの外表面から突出する構成とした、チャックシステム。

【請求項 6】

請求項 1 に記載のチャックシステムにおいて、前記摩擦低減部材は、樽型ローラー、搬送ボール、オムニローラー、ボールベアリング、ばね負荷ボール、およびこれらの組み合わせよりなるグループから選択した、チャックシステム。

【請求項 7】

請求項 1 に記載のチャックシステムにおいて、各チャックの一定直径の外表面を円筒表面とした、チャックシステム。